

記入例（都道府県・団体共通）※本記入例を参照の上、適切な様式にそれぞれ記入すること。

調書（１）都道府県、団体

(様式3の1、様式3の2)

令和8年11月1日 現在

都道府県番号	○	推薦都道府県名 推薦団体名	職業部門	第5部門	職種名(1)	職種名(2)	氏名・現就業先事業所名の 外字	例:「藤」は草冠が「十」のように離れた字、「刃」は「刃」のように突き出る字、「◎」の字は「○」の字の偏が〜となった字(フォント「△△」で表示可能)等
		〇〇県 または 一般社団法人〇〇協会			電子応用機械器具 組立工	電子計算機組立工		

推薦都道府県名欄、都道府県番号欄

プルダウンから推薦都道府県名を選択。
選択した都道府県に対応する番号が自動で都道府県番号欄に挿入される。

推薦団体名欄

職業部門番号欄、職種名(1)欄

「実施要領 別表」第1部門～第20部門を参考に職種をプルダウンにて選択し、記入。

氏名・現就業先事業所名の外字欄

被推薦者の氏名・現就業先事業所名に変換できない文字または特定のフォントでしか表示できない文字がある場合、必ず記入。

氏名・ふりがな・性別欄

住民票に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付け、名字と名前の間に**全角スペースを1つ挿入**する。
性別欄は住民票に記載されている性別をプルダウンから選択する。

ふりがな	ぎのう しゅういち	性別	男	技能・技術が分かるサイト等 (HPのURLを記載)	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/meikou/index.html
氏名	技能 秀一				
生年月日	昭和31年12月10日	年齢	69		
現住所	〒000-0000 都道府県 〇〇県 市区町村 〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇 〇〇マンション〇〇号室 TEL 000-000-0000				

技能・技術が分かるサイト等欄

自身の技能や技術が分かるサイト(会社・団体HP等)があれば記入。

生年月日・年齢欄

生年月日を入力すると和暦に変換される。
入力は西暦で「yyyy/mm/dd」(スラッシュ区切り)のように入力すること。「年齢」欄は生年月日を正しく入力すると自動で挿入される。

現住所欄

被推薦者の現住所および電話番号を記入する。都道府県はプルダウンにて選択。
住民票の住所と実際に居住している居所が異なる場合は、居所を記入。

就業先欄

所属企業欄には、雇用企業名を、自営の場合は屋号等を省略せず正確に記入(法人格を省略しないこと)。拠点名があれば記入する。(例:「〇〇工場」「〇〇支店」「〇〇営業所」)
また「所在地」欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さず記入する。
推薦時に、令和8年11月1日以前に就業地の変更が確定している場合は「(〇月〇日より変更予定)」と記入。なお、推薦後に就業地が変更となった場合は速やかに連絡する。

職歴欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を順番に記入すること。
団体歴、公職歴、家業手伝い、学生時代のアルバイト、推薦を受ける技能と関係の無い職種に従事していた期間は記入しない。ただし、いわゆる企業内学校において、推薦を受ける技能と直接関係がある職種の訓練を受けた期間は職歴とする。
現役職歴は最後に「として現在に至る」と記入。

就業先(都道府県)	〇〇県	企業全体の従業員数欄 被推薦者も含めた人数を半角数字で入力する。就業者が被推薦者のみの場合は、1と入力する。※事業所の人数は記載しない。	職歴	在職期間(年月日)	在職年月数
所属名	〇〇電機 株式会社 〇〇工場		△電機(株)第二製造部〇〇課に電機として就職 〇電機(株)〇〇工場 第一製造部〇〇課電子機器組立工として就職	S49.4.1 ~ S51.3.31 S51.4.1 ~ H3.3.15 H3.3.16 ~ H11.9.30 H11.10.1 ~ H26.3.31 H26.4.1 ~ R8.11.1	2年0月 14年11月 8年6月 14年6月 2012年7月
企業全体の従業員数	1,500人		主任 〇〇長 〇長として現在に至る		
所在地	〒111-1111 都道府県 〇〇県 市区町村 〇△市〇△区〇△町111-1 TEL 000-111-1111				
			在職期間(年月日)・在職年月数欄		
			在職期間の合計は、計算の上手入力のこと。		
			在職期間 計	51年6ヶ月	
			重複期間を除く在職期間 計	51年6ヶ月	

現職については、令和8年11月1日をもって終期とすること。

表彰歴、免許・資格、大会入賞歴・技能検定等写しの提出について

本調書に記入した表彰や入賞歴などは、証する写しを全て、「その他資料」として提出すること。

※「様式4 写真」には記載しないこと。

その際には、表彰名や免許、資格名に①、②と番号を振り、根拠となる写しのファイルにも同様に①、②と番号を付すことで、

表彰歴	表彰の種類	表彰の概要	取得年月
	大臣表彰	①第〇回〇〇技能競技全国大会（〇〇の部）〇〇大臣表彰	H〇年〇月
	知事・行政機関の局長表彰	②卓越技能者〇〇県知事表彰：〇〇に係る卓越技能について表彰	H〇年〇月
	全国レベルの業界団体表彰		
その他	③優秀技能者〇〇市長表彰：〇〇に係る優秀技能について表彰 ④〇〇県職業能力開発協会会長表彰：技能検定の推進貢献について表彰	H〇年〇月 H〇年〇月	

表彰歴欄 ※項目名の変更や行の追加など勝手に様式を変えないこと。

表彰を有する場合、表彰の概要及び取得年月を記入。（技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入）表彰の種類は、上段より順に該当項目に記入。

- ・「〇〇大臣賞」の場合は大臣表彰。
- ・「〇〇マイスター（〇〇知事賞）」の場合は知事・行政機関の局長表彰。
- ・「一般社団法人〇〇協会会長賞」の場合は全国レベルの業界団体表彰。

免許・資格等

職業訓練指導員免許の取得歴・技能検定委員の委嘱歴・特許を有する者については、免許・資格等の概要と取得年月を記入し、免許等を証する書面の写しを全て添付する。

免許・資格等	免許の種類	免許・資格等の概要	取得年月
	職業訓練指導員免許	⑤機械科	H〇年〇月
	技能検定委員	⑥〇〇県技能検定委員（機械）	H〇年〇月
	特許・実用新案等	⑦特許123456「〇〇用装置の考案」	H〇年〇月

大会入賞歴等欄

高度熟練技能者、ものづくりマイスター、全技連マイスターに該当する場合は、認定された年度（元号アルファベット+数字）、業種、職種を記入。

技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入。具体的留意点の「9.表彰歴」欄を参照のこと。

技能検定欄

等級は漢数字で記入。
技能士の名称、取得年月を記入。

大会入賞歴等	認定年度	職種		技能検定	等級	技能士の名称	取得年月	
		高度熟練技能者				一級	⑩電気機器組立技能士	H〇年〇月
	H28	ものづくりマイスター	⑧〇〇〇〇					
		全技連マイスター						
	開催回	参加職種			順位			
		技能グランプリ（一級技能士競技大会）						
	〇回	技能五輪国際大会入賞歴	⑨機械職種		〇位			
	技能五輪全国大会入賞歴							

記入例（都道府県・団体共通）※本記入例を参照の上、適切な様式にそれぞれ記入すること。

調書（２）都道府県、団体

（様式３の１、様式３の２）

都道府県番号	推薦都道府県名 推薦団体名	職業部門	職種名（１）	職種名（２）	ふりがな	ぎのう しゅういち
○	○○県 または 一般社団法人○○協会	第5部門	電子応用機械器具組 立工	電子計算機組立工	氏名	技能 秀一

過去5年の推薦回数欄

過去5年において被推薦者が卓越した技能者の表彰について推薦された年度を記入し、合計回数を確認する。

都道府県番号欄、推薦都道府県名、推薦団体名、職業部門、職種名（１）、職種名（２）、氏名欄

調書(1)に記載したものが自動で反映。

過去5年の推薦回数	(所在地又は住所)	推薦者及び推薦理由	推薦者及び推薦理由欄 推薦者の所在地または住所、電話番号及びその推薦理由を記入する。推薦者氏名は、都道府県知事名または団体代表者氏名とするが、空席時等やむをえない場合は職務代行者であることを明記し、職務代行者名を記入。 都道府県知事推薦の1位の者に関しては、他の候補者と比較して最上位とした理由も併せて記入。
令和5 年度	〒 111-1234		
令和3 年度	都道府県 ○○県	推薦理由 (推薦理由) 電子分野の試作品製作における「はんだ付け」を始め、試作品の完成されるまでに必要な電子回路技術、組付技能、計測・評価技能などの電子機器組立に関する技能に卓越している。その技能を活かして、宇宙産業機器や自動車用電子制御製品、ITS製品などの多くの試作を担当し、製品化まで導いた。また、幾多の改善による生産性及び品質の向上や、職場安全に寄与するとともに、多くの後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承するなど、多くの実績があり、県1位として推薦する。	
令和2 年度	市区町村 ○○市○○町○○		
年度	(推薦都道府県知事名) または (推薦団体の代表者名) TEL 000-111-2222		
年度	○○県知事 ○○ ○○ または、 一般社団法人○○協会 会長 ○○ ○○		
計 3 回			
推薦順位等			
選考対象者総数 36人			
推薦総数 7人			
推薦順位 1位			

推薦順位等欄

- ・選考対象者総数欄・・・推薦に当たり、被推薦者とならなかった者も含め選考の対象とした全ての人数を記入（例えば、50人を選考して、最終的に推薦者が10人となった場合は、「50」を記入する。）。なお、厚生労働大臣への推薦に当たり、管轄の市区町村、商工関係機関又はその他の団体等に推薦を依頼した上で候補者の選定を行っている場合は、当該推薦人数を記載し、潜在的な人数を記載するなど、過大な人数を計上しないように留意する。
- ・推薦総数欄・・・被推薦者の全部門における総数を記入。（1人のみ推薦の団体は不要）
- ・推薦順位欄・・・被推薦者の全部門における推薦順位を記入。（1人のみ推薦の団体は不要）

卓越した技能の概要欄

P12 4. 「卓越した技能の概要」欄に記載の各項目を参照の上記入。一葉で記入することが困難な場合は、調書（3）まで記載して差し支えない。

技能の概要	功績・貢献の概要 (社会的貢献活動を含む)	後進指導育成の概要	現役性
電子分野の試作品製作に長年従事して培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 1. 高信頼性を保障する組立技能 電子機器組立の「はんだ付け」技能と、振動を考慮した組立技能を修練し、その経験と研究から、信頼性の高い工法や工程を生み出したその技能は、ハイブリッド車や燃料電池車に搭載されている電子制御製品の試作でも基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。 2. プリント板アートワーク技能 電子製品の試作では、小型軽量化が重要課題とされ、その完成度はプリント基板の部品実装密度に大きく左右される。その中でもプリント板のアートワーク作業において、これまで培った優れたノウハウをベースに創意工夫と研究を重ね、新たなアートワークの工法を生み出した。その技能は現在標準化され、多くの電子製品の試作に適用されている。	1. 宇宙産業機器への貢献 人工衛星搭載用の低振動モータと宇宙環境測定装置の製作において、米国防空宇宙局の要求基準をクリアし、製品化を実現した。この技能は、現在運用中の国際宇宙ステーションの実験モジュール内で使用する真空ポンプ用コントローラの製造にも用いられた。 氏の技能は、宇宙産業事業の発展・拡大に貢献のみならず、○○産業の○○分野にも応用されている。また、耐震設備の○○の製造にも携わり、特に○○地震で被災した○○地域では氏自らが○○に取り組み、復興支援にも貢献した。 2. モータースポーツ活動への貢献 エンジン性能の向上を目指したエンジン制御用コンピュータの試作と量産に取り組んだその結果、高性能な電子部品の組立工法の向上に貢献した。 現在、この工法は標準化され、試作品の組立工法として広く活用されることとなった。	1. 電気・電子関係の国家検定に実技指導員として活躍し、これまでに○○名を合格させ、○○県技能競技大会において1位入賞者○○名を輩出した。 2. 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに○○人を全国大会に出場させた。大会では1位入賞○○名の成績を獲得させると共に○○年の国際大会でも1位入賞を果たさせる等、高い指導能力を発揮した。 3. 技能検定補佐員として○○年にわたり尽力し、○○年から検定委員として、検定（電子機器・配電盤組立）の運営に貢献し、現在も県技能検定専門委員として活躍している。	技能五輪選手を指導する後進の指導員や技能五輪選手の指導、現場管理に尽力している また、自ら電子機器組立工として、訓練課題の作製作業に日々従事している。 現在従事している業務内容とその内訳は次のとおりである。 就業時間○時間 1. 新規課題の検討及び仕様書類の作製（○時間） 2. 指導方法や訓練内容の検討及び改善（○時間） 3. 職場内の巡視と指導員や選手への指導・教育（○時間）

364

272

249

191

記入例

調書（1）一般

(様式3の3)

令和8年11月1日 現在

職業部門	第5部門	職種名（1）	職種名（2）	氏名・現就業先事業所名の外字	例：「藤」は草冠が「十」のように離れた字、「刃」は「刃」のように突き出る字、「◎」の字は「○」の字の偏が～となった字（フォント「△△」で表示可能）等
		電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工		

氏名・ふりがな・性別欄

住民票に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付け、名字と名前の間に**全角スペースを1つ挿入**する。
性別欄は住民票に記載されている性別をプルダウンから選択する。

職業部門番号欄、職種名（1）欄

「実施要領 別表」第1部門～第20部門を参考に職種をプルダウンにて選択し、記入。
（2）欄は手入力する。

氏名・現就業先事業所名の外字欄

被推薦者の氏名・現就業先事業所名に変換できない文字または特定のフォントでしか表示できない文字がある場合、必ず記入。

ふりがな	ぎのう しゅういち	性別		技能・技術が分かるサイト等（HPのURLを記載）	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/meikou/index.html
氏名	技能 秀一				
生年月日	昭和31年12月10日	年齢	69		
現住所	〒000-0000 都道府県 ○○県 市区町村 ○○市○○町○丁目○-○ ○○マンション○○号室 TEL 000-000-0000				

技能・技術が分かるサイト等欄

自身の技能や技術が分かるサイト（会社・団体HP等）があれば記入。

生年月日・年齢欄

生年月日を入力すると和暦に変換される。
入力は西暦で「yyyy/mm/dd」（スラッシュ区切り）のように入力すること。「年齢」欄は生年月日を正しく入力すると自動で挿入される。

現住所欄

被推薦者の現住所および電話番号を記入する。都道府県はプルダウンにて選択。住民票の住所と実際に居住している居所が異なる場合は、居所を記入。

就業先欄

所属企業欄には、雇用企業名を、自営の場合は屋号等を省略せず正確に記入（法人格を省略しないこと）。拠点名があれば記入する。（例：「○○工場」「○○支店」「○○営業所」）
また「所在地」欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さずに記入する。推薦時に、令和8年11月1日以前に就業地の変更が確定している場合は「（○月○日より変更予定）」と記入。なお、推薦後に就業地が変更となった場合は速やかに連絡する。

職歴欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を順番に記入すること。団体歴、公職歴、家業手伝い、学生時代のアルバイト、推薦を受ける技能と関係の無い職種に従事していた期間は記入しない。ただし、いわゆる企業内学校において、推薦を受ける技能と直接関係がある職種の訓練を受けた期間は職歴とする。
現役の職歴は最後に「として現在に至る」と記入。

就業先（都道府県）	○○県	所属名	○○電機 株式会社	職歴	在職期間（年月日）	在職年月数
企業全体の従業員数	80	所在地	〒111-1111 都道府県 ○○県 市区町村 ○△市○△区○△町111-1 TEL 000-111-1111	△△電機（株）第二製造部○○課に電機工として就職 ○○電機（株）○○工場 第一製造部○○課に電子機器組立工として就職 ○○主任 ○○長 ○○長として現在に至る	S49. 4. 1 ~ S51. 3. 31 S51. 4. 1 ~ H3. 3. 15 H3. 3. 16 ~ H11. 9. 30 H11. 10. 1 ~ H26. 3. 31 H26. 4. 1 ~ R8. 11. 1	2年0月 14年11月 8年6月 14年6月 2012年7月
				企業全体の従業員数欄		
				在職期間（年月日）・在職年月数欄		
				在職期間の合計は、計算の上手入力のこと。	重複期間を除く在職期間	計 51年6ヶ月
				在職期間	計	51年6ヶ月

企業全体の従業員数欄

被推薦者も含めた人数を半角数字で入力する。就業者が被推薦者のみの場合は、1と入力する。
※事業所の人数は記載しない。

在職期間（年月日）・在職年月数欄

在職期間の合計は、計算の上手入力のこと。

在職期間 計 51年6ヶ月

重複期間を除く在職期間 計 51年6ヶ月

現職については、令和8年11月1日をもって終期とすること。

表彰歴、免許・資格、大会入賞歴・技能検定等写しの提出について

本調書に記入した表彰や入賞歴などは、証する写しを全て、「その他資料」として提出すること。

※「様式4 写真」には記載しないこと。

その際には、表彰名や免許、資格名に①、②と番号を振り、根拠となる写しのファイルにも同様に①、②と番号を付すことで、どの根拠資料を示しているかが明確に分かるよう工夫すること。

表彰歴	表彰の種類	表彰の概要	取得年月
	大臣表彰	①第〇回〇〇技能競技全国大会（〇〇の部）〇〇大臣表彰	H〇年〇月
	知事・行政機関の局長表彰	②卓越技能者〇〇県知事表彰：〇〇に係る卓越技能について表彰	H〇年〇月
	全国レベルの業界団体表彰		
その他	③優秀技能者〇〇市長表彰：〇〇に係る優秀技能について表彰 ④〇〇県職業能力開発協会会長表彰：技能検定の推進貢献について表彰	H〇年〇月 H〇年〇月	

表彰歴欄 ※項目名の変更や行の追加など勝手に様式を変えないこと。

表彰を有する場合、表彰の概要及び取得年月を記入。（技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入）表彰の種類は、上段より順に該当項目に記入。

- ・「〇〇大臣賞」の場合は大臣表彰。
- ・「〇〇マイスター（〇〇知事賞）」の場合は知事・行政機関の局長表彰。
- ・「一般社団法人〇〇協会会長賞」の場合は全国レベルの業界団体表彰。

免許・資格等

職業訓練指導員免許の取得歴・技能検定委員の委嘱歴・特許を有する者については、免許・資格等の概要と取得年月を記入し、免許等を証する書面の写しを全て添付する。

免許・資格等	免許の種類	免許・資格等の概要	取得年月
	職業訓練指導員免許	⑤機械科	H〇年〇月
	技能検定委員	⑥〇〇県技能検定委員（機械）	H〇年〇月
特許・実用新案等	⑦特許123456「〇〇用装置の考案」	H〇年〇月	

大会入賞歴等欄

高度熟練技能者、ものづくりマイスター、全技連マイスターに該当する場合は、認定された年度（元号アルファベット+数字）、業種、職種を記入。

技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入。具体的留意点の「9.表彰歴欄」を参照のこと。

技能検定欄

等級は漢数字で記入。
技能士の名称、取得年月を記入。

大会入賞歴等	認定年度	職種		技能検定	等級	技能士の名称	取得年月	
		高度熟練技能者				一級	⑩電気機器組立技能士	H〇年〇月
	H28	ものづくりマイスター	⑧〇〇〇〇					
		全技連マイスター						
	開催回	参加職種	順位					
		技能グランプリ（一級技能士競技大会）						
	〇回	技能五輪国際大会入賞歴	⑨機械職種		〇位			
	技能五輪全国大会入賞歴							

記入例

調書（２）一般

(様式 3 の 3)

	職業部門	職種名（１）	職種名（２）	ふりがな	ぎのう しゅういち
	第5部門	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工	氏名	技能 秀一

過去5年の推薦回数欄

過去5年において被推薦者が卓越した技能者の表彰について推薦された年度を記入し、合計回数を確認する。

職業部門、職種名（１）、職種名（２）、氏名欄

調書(1)に記載したものが自動で反映。

過去5年の推薦回数	推薦者の所属先	〇〇〇〇 〇〇長
令和5 年度	推薦者氏名	推薦 太郎 TEL 000-000-0000
令和4 年度	〒 住所：都道府県	住所：市区町村以下
令和3 年度	000-0000 〇〇県	〇〇市〇〇町〇〇〇-〇-〇 〇〇マンション〇〇号室
年度	賛同者①所属先	〇〇
年度	賛同者①氏名	賛同 一郎 TEL 00-0000-0000
計 3 回	〒 住所：都道府県	住所：市区町村以下
	000-0000 〇〇県	〇〇市〇〇町〇〇〇-〇-〇 〇〇アパート〇号室

推薦者及び推薦理由欄

推薦者、賛同者①および賛同者②の住所、電話番号及びその推薦理由を記入する。ただし、推薦者、被推薦者及び2人の賛同者は互いに二親等以内（配偶者を含む。）の親族関係になく、かつ、推薦者および2人の賛同者は推薦日時時点で成人に達する者であること。

卓越した技能の概要欄

P12 4. 「卓越した技能の概要」欄に記載の各項目を参照の上記入。一葉で記入することが困難な場合は、調書（3）まで記載して差し支えない。

賛同者②所属先	なし
賛同者②氏名	同石 照人 TEL 090-0000-0000
〒 住所：都道府県	住所：市区町村以下
000-0000 △△県	△△郡〇〇村〇〇〇-〇
(推薦理由)	
電子分野の試作品製作における「はんだ付け」等の電子機器組立に関する技能に卓越している。その技能を活かして、宇宙産業機器や自動車用電子制御製品、ITS製品などの多くの試作を担当し、製品化まで導いた。また、幾多の改善による生産性及び品質の向上や、職場安全に寄与するとともに、多くの後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承するなど、多くの実績があるため推薦する。	

卓越した技能の概要

技能の概要	功績・貢献の概要 (社会的貢献活動を含む)	後進指導育成の概要	現役性
電子分野の試作品製作に長年従事して培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 1. 高信頼性を保障する組立技能 電子機器組立の「はんだ付け」技能と、振動を考慮した組立技能を修練し、その経験と研究の中から、信頼性の高い工法や工程を生み出したその技能は、ハイブリッド車や燃料電池車に搭載されている電子制御製品の試作でも基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。	1. 宇宙産業機器への貢献 人工衛星搭載用の低振動モータと宇宙環境測定装置の製作において、米国防空宇宙局の要求基準をクリアし、製品化を実現した。この技能は、現在運用中の国際宇宙ステーションの実験モジュール内で使用する真空ポンプ用コントローラの製造にも用いられ、宇宙産業事業の拡大に貢献した。 2. モータースポーツ活動への貢献 エンジン性能の向上を目指したエンジン制御用コンピュータの試作と量産に取り組んだその結果、高性能な電子部品の組立品質の向上に貢献した。 現在、この工法は標準化され、試作品の組立工法として広く活用されることとなった。	1. 電気・電子関係の国家検定に実技指導員として活躍し、これまでに〇〇名を合格させ、〇〇県技能競技大会において1位入賞者〇〇名を輩出した。 2. 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに〇〇人を全国大会に出場させた。大会では1位入賞〇〇名の成績を獲得させると共に〇〇年の国際大会でも1位入賞を果たさせる等、高い指導能力を発揮した。 3. 技能検定補佐員として〇〇年にわたり尽力し、〇〇年から検定委員として、検定（電子機器・配電盤組立て）の運営に貢献し、現在も県技能検定専門委員として活躍している。	技能五輪選手を指導する後進の指導員や技能五輪選手の指導、現場管理に尽力している また、自ら電子機器組立工として、訓練課題の作製作業に日々従事している。 現在従事している業務内容とその内訳は次のとおりである。 就業時間〇時間 1. 新規課題の検討及び仕様書類の作製（〇時間） 2. 指導方法や訓練内容の検討及び改善（〇時間） 3. 職場内の巡視と指導員や選手への指導・教育（〇時間）

190

272

249

191